

2024.02.22. 木曜礼拝「イエスは家を建て、家庭を築かれる」

エゼキエル 4 3 章 & 4 4 章

JD ファラグ 牧師

一緒に祈りましょう。主よ、心から感謝します。もしかしたら、私たちの中には、糸一本でしがみついている人がいるかもしれません。主よ、私たちが持っているものはすべてあなたからのものだと、私たちにある命は、すべてあなたからのものだと思います。今晩、御言葉に入ります。主よ、あなたの御言葉は命です。主よ、あなたをご用意しておられるものを受け取ることができるよう、あなたの聖霊で満たしてくださいませよう。御教えとこの貴重な時間をありがとうございます。あなたの御言葉にすることは、私たちにとって大変重要です。今夜のメッセージを祝福ください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。アーメン、アーメン。

皆さん、こんばんは。ようこそ。どうぞご着席ください。来てくださり嬉しいです。オンラインで参加の方も、嬉しいです。は〜い！オンラインの方、そんなことをすると、クリック、で退出するかも。もう始めますけど、いいですか？ 今夜は、2章なので、そ、43章と44章です。この書もそろそろ終盤48章に差し掛かっています。そんな急いでいるわけではありませんが、今夜はこの2つの章を一緒に取り上げたかったのです。その理由の一つは、私たちの前にあるこの2章で、神は預言者エゼキエルを通して、千年王国時代の神殿についての大変な詳細を続けておられるからです。これは、想像できるなら、想像を絶しますが、墮落する前の状態の地上でのキリストの、キリストと共にの、1000年の支配統治です。私たちは40章から、40章の始めから、この神殿がどのようなものになるのか、一見取るに足らないようなその寸法に至るまでを見ていっています。しかし、今夜は一転して、そこから焦点は神殿に戻ってこられる主のご栄光へと移り、主のご臨在で満たされること。そして、これが本当に重要で、言わば、私はこれは教訓だと思います。『イエスは家を建て、家庭を築かれる』ことを物語る、美しく壮大な肖像を描くからです。そして、前提条件は、イエスがその中におられるなら、イエスがその中におられる時に。さあ、聞いてください。最後の、、、40章、41章、42章と、3つの章は丹念な詳細で、踏ん張ってください、今夜もまた来てくださり、あなたの心に祝福を。つまり、大変詳細ですよ？ でもここに、神殿があつてエゼキエルによって記録され、エゼキエルによって預言されたものの記録にも、誰がそれを建てるのかの言及はありません。幕屋やその後の神殿の時のような、このように、特にこの寸法で、建てるようにとの命令はありません。そんなものは一切ありません。なぜか？ 神がそれを建てられるからです。私たちが見てきているのは、すでに建てられたものの寸法だけです。で、今や、私たちには、この美しい神殿があつて、でも、それがすべてです。主が戻られる今夜までは。エゼキエル書11章だったと思いますが、神のご栄光が神殿から去ったときのことを皆さん、覚えていますか？ バビロン人がユダを包囲し、エルサレムの神殿を破壊したとき、神のご栄光は去りました。そう、それが戻ってこられます。でも、皆さん心に留めて下さい。バビロンにいる彼らにとって、これはまだ未来のことなのです。今夜見ていくように、神はエゼキエルに、彼らに、こう語らせようとしておられるからです。なぜか？ 彼らの励ましとなるために。彼らは故郷から遠く離れたバビロンに捕らわれているからです。彼らの家は破壊されました。エルサレムは破壊され、神殿は破壊されました。エゼキエルは、最後に預言してから約12年後、まだ未来の千年王国の、まさに、神殿ツアーのビジョンを受けるのです。これは彼らの耳に心地よく響いただろうと思います。これは大きな励ましと希望の源となったでしょう。メッセンジャーも、この場合エゼキエルも、大いに励まされたでしょう。基本的に神が民、イスラエルに仰っているのは、「わたしはあなたたちを見捨てていない。」という意味だからです。

「これが、地上の千年王国統治時代に、わたしがあなたたちにすることです。あなたがたはこの壮大な神殿を持つことになり、わたしは戻ってくる。わたしの栄光が戻り、この神殿の家を家庭にします。」

なぜか？ わたしがその中にいるからです。そして、これは個人的に全面的に適応されます。どんな結婚にも当てはまります。主がその中におられ、その中心で正当な位置におられるなら、それが結婚です。夫や妻になることはできますが、それは結婚ではありません。美しい家を持つことはできます。でも、主がそこにいなければ、それは家庭ではなく、ただの家です。その中に人は入りますよ。ええ、でもその中に主はおられません。主がその中におられない限りは、それは家庭ではありません。それは家庭ではありません。私たちが言うところのスイートホームでは、イエスと主のご栄光がその家庭を満たし、結婚生活を満たし、家族

を満たし、それが本来の姿となるようにせねばなりません。ですから、これが私たちがこの学びを進めていく上で本当に重要です。そのレンズを通して見てほしいと思います。繰り返しますが、壮大な建物を持つことはできます。でも考えてみてください。主がその中におられなければ、それまでです。遠くから眺められます。なんならエゼキエルと一緒にツアーに行き、採寸の、中を見学することもできます。一度、お弁当を持って行ってみてください。あなたはそこにいることができますが、もし主が中におられないなら、あなたが見ているのはただの建物です。どんなに立派な建造物であっても、そこに栄光をもたらすのは主です。今から主がご自分の神殿に戻られ、栄光で満たされるのを見ていきます。では祈りましょう。学びの前に、神の御言葉の中で共に過ごす時間を祝福くださるよう、一緒に神にお願いしましょう。

お父様、ありがとうございます。主よ、私たちは、あなたの御言葉のひとつひとつに理由があることを知っています。今夜、私たちの前のエゼキエル書の2章がその事例です。主よ、私たちはこの中であなたにお会いしたいのです。あなたはここにおられます。しかし、私たちはこれを置いて帰るのではなく、今夜、これを持ち帰りたいのです。私たちの家、私たちの結婚、私たちの家族にあなたが必要な時があるとすれば、それは今だからです。この章を読み進めるにあたり、そのことを私たちに導いてくださいませんか？ イエスの御名によって祈ります。アーメン。

それでは、43章1節に入りましょう。

— エゼキエル 43：1 —

彼は私を東向きの門に連れて行った。

— エゼキエル 43：2 —

すると見よ、イスラエルの神の栄光が東の方から現れた。その音は大水のとどろきのようで、地はその栄光で輝いた。主が、戻ってこられます。

— エゼキエル 43：3 —

私が見た幻は、かつて主がこの町を滅ぼすために来たときに私が見た幻のようであり、・・・

エゼキエル書の冒頭で、彼は都の破壊が来るビジョンを見ます。しかし今、このビジョンは都の破壊ではなく、都の建設と神殿への主のご栄光の帰還です。

・・・またその幻は、かつて私がケバル川のほとりで見た幻のようでもあった。私はひれ伏した。

この様子が再度出てきます。次の44章の冒頭だと思います。でも、ここで気づいてほしいことがあります。見逃したくないので、皆さんの注意を引きたいと思います。これは、、これは彼が、とった反応です。

エゼキエルは、ビジョンを見て、「私は主にひれ伏した。」ではなく、無意識にだったのです。これが神のご栄光に対する彼の反応でした。聖書全体を通して、誰かが神のご栄光に接し、その近くにいた事例が次から次へと出てきますよね。彼らの反応はどうでしたか？イザヤはこう言いました。

「私から離れてください。私は唇の汚れた者です。」(イザヤ 6：5 参照)

主がご栄光のすべてを現されたとき、ペテロは、こう言いました。

「主よ、私から離れてください。私は罪深い人間ですから。」(ルカ 5：8)

人が神のご栄光に触れるとき、これが無意識の反応です。3節を見ると、彼はただ倒れただけという印象を受けます。彼はただへたり込み、倒れ、ひれ伏した。神のご栄光の超自然的なビジョンと出現に対するある種の自然な反応でした。私にとって、鳥肌ものです。

— エゼキエル 43：4 —

主の栄光が東向きの門を通過して神殿に入って来た。

5節に進む前に、指摘しておきたいと思います。特に、一緒にイスラエルに行ったことのある人は、ご存

知、オリーブ山に立ち、神殿の丘を見ていると、東門があり、石のブロックで完全に塞がれ、閉ざされていて、誰も中に入ることも、誰も出ることもできません。そう、イスラム教徒がトルコの時代に、それを塞ぎました。エルサレムを支配しようとした彼らの考え方で、残念ながらそれは無理。この預言、すなわち主のご栄光が、東門から神殿への主のご臨在が成就するのを阻止しようと、それで彼らが塞ぎました。

「は！あなたは戻ってこれないぞ。」わお～ あなたは預言を阻止しなかっただけでなく、実際にすべてを成就させた。どうもありがとう。冗談、、いや、今夜は2章をするので、止めておきます。したいですけど、できません。

ー エゼキエル 43：5 ー

霊が私を引き上げ、・・・

(これが、主の栄光の前にいるとき起こることでは?) 引き上げられ、高揚する。主は言われました。

「詩篇16:33」かな、たぶん違うと思います。神はご自身の民の賛美に宿られる。(詩篇 22：3 参照) きっと16篇11節かな、「主の御前に、満ち足りた喜びが。」つまり、主の御前にいるとき、主のご栄光の中にいるとき、高められる。以前にもこの例を使ったことがありますけど、今夜は、ぴったりかもしれないのは、木曜日の5時頃という完璧な例。たぶん、私は自分自身のために話しますが、牧師である私が言うのだから恐ろしいのが、午後5時くらいに眠気が襲って来ませんか？まだ食事もしていないのに。夕食をするなら、それどころじゃありません。もうへたり込みます。実際、あなたはソファやベッドに似たもの、椅子にも近づかない方がいいです。一度そこに入ったら、もう立ち上がられません。あなたの霊、霊はしようとしても、肉は弱く疲れています。とても疲れています。特に、この特定の時刻に。で、考える。

「そうだな、教会にとっても行く気分じゃない。」それに対し、いつも妻に念を押されるのは、「行かなきゃ。あなたは牧師で、聖書の学びを教えているのよ。」それで、なんとか自分を震いださせ、「OK。なんとか行かなきゃ。で、車に乗り込み、教会へ運転し、カポノが上がってきて、主を賛美し始めると、突然、あなたは引き上げられる。両手が引き上げられ、声が引き上げられる。主を賛美する。主はあなたたち、主の民の賛美に宿っておられます。主の御前に喜びが満ち溢れる。主は賛美の中に宿り、主のご栄光、主のご臨在がそこにある。そして主の御前に、主の満ち足りた喜びがある。突然、来る前はどれだけ疲れていたかを考えていたのに、事実今や考えるのは、皆さんの思考が読めるから、私はわかっています。今読んでいるところなので、気をつけてください。でも、あなたはこう考えます。「来て本当に良かった。それを乗り越えて本当によかった。」その作者は誰か知っていますね？ 敵です。「いや～家において、オンラインにすれば？ 行かないよね。眠くなるし。」頼みますよ。居心地がいいんから、そこに座って、横たわれる。私はそれができません。私はきっとできませんけど、あなたならできるかも。横になると、まぶたが非常に重くなる。なんということ。特にあの人教えるならね。(JD 挙手) ですから、エゼキエルは、引き上げられ、イスラエルの甘美な詩人、ダビデが書いたことが好きです。「詩篇6篇」だと思えます。

「私の頭を上げる方。」(詩篇 3：3)

主は、私が落ち込んでいるとき、私の頭を上げる方。

ー エゼキエル 43：5 ー

霊が私を引き上げ、私を内庭に連れて行った。

なんと、(ここで再度→) 主の栄光が神殿に満ちていた。イザヤが語ったことを思い出しますか？ イザヤ(6：1)は、「御座に着いておられる主を見た。」主は、御座の前で、ウジヤ王が死んだ年に、行ったり来たりしておられません。主は、御座に着いておられ、その裾はご栄光と共に神殿に満ち、言葉で表現できません。これがエゼキエルが今、目にしていることです。

ー エゼキエル 43：6 ー

私のそばに人が立っていたが、私は、神殿の中から声が私に語りかけるのを聞いた。

これはおそらく、40章で紹介したツアーガイドでしょう。日焼けした青銅の男 彼は青銅でできているようで、

一 エゼキエル 43：7 一

その声は私に言われた。「人の子よ。ここは・・・

よく見てください。突然主がエゼキエルに、直接語っておられるかのようです。

・・・ここはわたしの玉座のある場所、わたしの足の踏む場所、わたしが永遠にイスラエルの子らの中で住む場所である。・・・

この「エゼキエル43章7節」の一言で、神がユダヤ人を見限ったという考え方は、完全に崩れます。主は、見限っておられません。主はユダヤ人と誓約しておられます。それは永遠の誓約です。永遠の誓約が何かご存知ですか？ 永遠の永久の誓約です！

「わたしが永遠にイスラエルの子らの中で住む場所である。」今、あなたがバビロンにいて、エゼキエルがこのまだ見ぬ未来について預言しているとしたら、あなたはどれほど励まされ、高揚するのでしょうか？ あなたは完全に罪を示されるので、敵はあなたをこきおろすためにすぐそこにいて、

「神はあなたを見限った。あなたがそれを台無しにしたんだ。もうどうしようもない。修復もなければ和解もない。主が住まわれ、主のご栄光の神殿はおろか、あなたは二度と主の御前に立つことはない。」

ここでエゼキエルは語ります。「いいえ、主は、私たちと共に、私たちの間に永遠に住まわれる。」

・・・イスラエルの家は、その民もその王たちも、もう二度と、淫行や高き所の王たちの死体で、わたしの聖なる名を汚さない。

何て？ いや、どうやら、神殿での汚れという意味は、かつてイスラエルの民は、主の神殿のそばに、淫行や偶像礼拝とともに、これらの偽りの神々の死体を置いた。実際、彼らは神殿の中にバアルの礼拝場所を置いていました。私はこれを理解しやすいように、比較にまとめようとしています。それはまるで、私たちが、あそこのキッチン为例にすると、いや、私たちは決してしませんけど、私の目の黒いうちはそんなことはさせませんよ。こんなことは決して起こりません。そうやってほしいなどという考えは持たないように。もっとも皆さんは望まないでしょうけど。でも、あそこのキッチン为例にしましょう。タイルの上に小さな敷物を敷き、イスラム教徒がアッラーを礼拝する場所にします。もっと良さげな比較を考えましょうか？ どうやら皆さんの頭を混乱させているようだから。考えられないでしょ？ そう、それが民のしたことです。彼らはバアル礼拝を神の神殿に持ち込み、神殿を汚しました。神はそのことを彼らに思い出させておられます。で、興味深いのが、10節、「人の子よ。」これは誰かがどう表現したのか。これは “エゼキエル風” (Ezekiel-esque) もっといい方法があるでしょうけど、ポイントはわかりますね？ 「人の子よ。」を読むたびに、それは、とてもエゼキエルの的です。なぜなら、幾度これが参照されたでしょうか。神は数を数える方々を祝福されます。私はおそらく40くらいでやる気を失うでしょう。エゼキエル書の中で、エゼキエルが”人の子”と言及されているのは、たぶん80以上あります。ですから、エゼキエルよ、

・・・あなたは、イスラエルの家が自分たちの不義によって辱められるため、彼らに神殿を示し、彼らにその模型を測らせよ。

何て？ ちょっと待って。「それでエゼキエルよ、イスラエルの家に対して神殿とその詳細のすべてを測定させなさい。そうしてほしい理由はイスラエルの家が辱められるため。」もう恥はないと思いました。罪悪感も恥もすべて取り去られたと。いいえ、待ってください。聖別された辱め、本物の悔い改めに繋がる神の悲しみがありません。申し訳ないのですが、そんなつもりはありませんし、間違っただけで聞かなくていいのですが、これは、こんにちの私たちの時代にはまったく存在しないのです。教会の中でさえ、もう辱めがないのです。子供の頃を覚えていますか？ ええ、先生たちと間違いなく両親、アラビア語で、私は2つの異なる言語でそれを言われました。あなたがそうだったかどうかはわかりませんが、先生や親や誰かがあなたにこう言ったことは？ 「あなた自身が恥を知るべきだ。」つまり、ゾツとしたでしょ？ こうなります。「は、はい。。自分が恥づかしい。」

「そうなるべきだ！」ええ、今や、恥もくそもないって感じです。恥を知る必要があります。これが、、私は怒っていません。いい意味でとても恥じ入っています。その恥が義につながるからです。そして、これこそが神の目指しておられることで、そう、主は、彼らが恥じ入ることを望んでおられます。

「イスラエルたちよ、自分たちのしたことを恥じるべきです。当然です。」「では、エゼキエルよ。わたしはあなたに、これを彼らに見せて欲しい。彼らが自分自身と自分たちの咎を恥じるよう、このことを説明しなさい。」

それから、、これは変ですが、「彼らにその模型を測らせよ。」「待ってください。私はすでに恥にまみれています。そして、エゼキエルが詳細に描写している神殿の模型の計測を始めろというのですか？」待って。なぜ？ 11節、

ー エゼキエル 43 : 11 ー

もし彼らが、自分たちの行ったあらゆることによって恥じるなら、あなたは彼らに神殿の構造とその模型、その出口と入り口、すなわち、そのすべての構造を、神殿のすべての掟、すべての構造、すべてのおしえとともに示し、彼らの目の前でそれを書き記せ。彼らがそのすべての構造と掟を守り、それらを（キーワード→）行うためである。

OK。私たちは、このことに取り組む必要があります。私は大変恥入っていて、今、神はエゼキエルを通して、私に次のことをさせようとしておられます。「神殿の構造とその模型、その出口と入り口、そのすべての構造、すべてを書き記し、そして私は、書き留められたすべての設計とその掟を守らなければならない。わかりました。それでどうするのですか？」「それをあなたが行う/実行するまでは何もない。」「ヤコブの手紙2章」を考えてください。御言葉があっても、御言葉を行わない者。こんな風に考えてください。イスラエルの民はバビロンにいます。彼らはそこにいて、そこで死ぬこととなります。70年間だからです。そしてこれは、神殿の破壊からおよそ12年後のことです。で、70-12=?? 誰か助けてください。62? いや52? いや58です。おお、わお～なぜ私はしようとするのか？ 実際、数字に関してはそれほど悪くないのに、ただ疲れているのです。それが言い訳です。うまくいってます？ うまくいっていないなら、あと3回。彼らにはまだ何年も残っています。特に年配者なら、エルサレムを見ることは二度とないでしょう。だから神は彼らにこうさせられたのです。「いや、エルサレムをもう二度と見ることはない。再建された神殿を見ることは二度とないだろう。だから、あなたがたが再び目にするようになるこの神殿のことを知っておいてほしいのです。この神殿を見てほしいだけでなく、すべてがどのように設計され、すべてがどのように計測され、細部に至るまで、さらに重要なことに、誰がこの神殿にいるのかを見てほしい。"わたし"だ。なぜなら、わたしを指し示すこの神殿はあったが、あなたがたはわたしを知らなかったから。」先週も話しましたね。これはとても重要です。決して神がこうだとは考えないでください。「千年間、ここにいて、あなたがたはそれなりの代価を払わないといけな。あなたがたはそれを台無しにした。神殿があったとき、あなたがたはイスラム教とバアル礼拝をフェローシップ会場で行った。だから、これからは正してもらおう。そして相応の代価を支払ってもらおう。犯罪を犯せば、服役するのだ。1000年だ。他に方法はない。」いいえ、もっとこんな感じです。「あなたがたはすべてを奪われた。だからわたしは、イナゴが食べてしまったあなたがたの年月を回復させる。あなたがたは、神殿全体とそれが意味するものを見逃したからだ。だから、わたしが埋め合わせをします。あなたのためにするのであって、あなたに対してではない。あなたがたは神殿を手に入れ、わたしは神殿に入ります。わたしはあなたがたと永遠に共に住みます。そしてこの恥の全ては、わたしはあなたがたをその恥の状態に置いておくのではなく、そう、自分を恥じるべきだけれど、あなたがたの咎の恥について、わたしがこれから何をしようとしているのか、今から考えてほしいのです。わたしたちはやり直しましょう。そして、わたしはあなたを正しましょう。そして、それはわたしのすぐ（右）側にある。あなたがたはこれを見ることとなりますが、でも、見るだけでなく、実行しなさい。あなたがたが行いなさい。」12節、「神殿に関する掟」さて、この掟という言葉は、原文をそのまま表現しているわけではありません。むしろ、神殿の定めに近いです。

ー エゼキエル 43 : 12 ー

(神殿に関するおしえは次のとおりである。) 山の頂の周囲全体は最も聖なる所である。これが神殿に関する

るおしえである。

再度、「神殿に関する掟」。

— エゼキエル 43 : 13 —

キュビトによる祭壇の寸法は次のとおりである。・・・

キュビトとは、補足的に、1キュビトは肘から手の先までで、腕は18インチ、そして手幅は、、、私の父は、、、大変興味深いのは、これが一手幅で、父はよくこんな風に測っていました。メジャーテープはありませんでしたが、父はこのように手で測っていました。で、あるとき、その測り方は何なんだろうと思ったのを覚えています。小さな手で測ってみると、私の手幅は4インチほどでした。それが測定方法でした。基本的に1キュビトは約22インチです。補足として、これは元の記述にはないと言われています。

・・・このキュビトは、普通のキュビトに一手幅足したものである。・・・

「ちょっと待って、牧師さん、私たちは測定に戻っていますよ。」 ご辛抱ください。

・・・祭壇の溝は深さ一キュビト、幅は一キュビト、周囲の縁取りは一ゼレトである。祭壇の高さは次のとおりである。

— エゼキエル 43 : 14 —

この地面に接する溝から下の台座までは二キュビト、幅は一キュビト。この低いほうの台座から高いほうの台座までは四キュビト、・・・

これって、またデ・ジャヴですね？

・・・幅は一キュビト。

— エゼキエル 43 : 15 —

祭壇の炉は高さ四キュビトであり、祭壇の炉から上の方へ四本の角が出ている。

— エゼキエル 43 : 16 —

祭壇の炉は長さ十二キュビト、幅十二キュビトの正方形である。

— エゼキエル 43 : 17 —

その台座は長さ十四キュビト、幅十四キュビトの正方形で、その周囲の縁は半キュビト、周囲の溝は一キュビトであり、その階段は東に面している。」

待ってください。これはすぐに理解できます。

— エゼキエル 43 : 18 —

その声は私に言われた。「人の子よ、神である主はこう言う。祭壇の上で全焼のささげ物を献げ、血を振りかけるための祭壇を造る日には、次のことが祭壇に関する掟となる。

さて、千年王国時代のささげ物について話しました。罪に対して何もせず、罪を覆いもせず、罪を清めることもありません。それは、過去を振り返る記念であり祝典でした。神はまた、彼らが満たされる経験をするのを望んでおられます。神殿が意味すること、ささげ物の意味すること、それは、すべての人々のため一度きりの犠牲となられたイエスを指し示します。ですから、その記念です。私たちが聖餐式をするのは、イエスがしてくださったことを思い起こし記念するためです。これが彼らが奪われたのです。ですから1000年の間、彼らはこれらの犠牲が象徴することを覚え、記念し祝うことに与ります。再度、理由は、すべての尺度で詳細は、文字通りです。比喩的、霊的なことではありません。これが文字通りの神殿でないなら、なぜこれほど詳細に説明するのですか？ そして、千年王国における未来の神殿についてのエゼキエルの預言

は、バビロンに捕囚のユダヤ人にとって、魅力的に聞こえなかったでしょう。いつも比喩的だと片付けてしまいたくなるでしょう。

「靈的でしょ。文字通りじゃなくて。それはいい心遣いで、考えですけど、あまり慰めにはなりません。大切なのは気持ちですよ。」と。違います。これは本物の神殿です。そこに入るのは、あなたがたです。私たちではありません。ちなみに。いえ、私たちは支配統治します。栄光の体で。もし彼らは生き残っても、栄光の体ではありません。これについて話しましたね。あまり逸れたくありませんけど、この違いを明確にすることは非常に重要です。彼らは、アダムとエバのような肉体を持つこととなります。アダムとエバがどのくらい生きたかご存知ですね？神は呪いを宣告し、仰いました。

「(その木から) それを食べるとき、あなたは必ず死ぬ。」(創世記 2 : 17 参照)

その日、彼らは死にませんでしたけど、それは1日の測り方を間違えています。主にとって、千年は一日からです。(II ペテロ 3 : 8 参照)

アダムは930歳まで生きたと思います。またです。数字のときは、細心の注意を払わないといけません。

しかし、彼アダムは、確か930歳まで生きて死にました。主にとっては1日のようなものです。ですから、千年王国時代での死を見ていきます。ここですぐにわかります。誰かが300歳で亡くなると、「とても若かったですね。」実際、そうなります。なぜか？ 彼らはアダムとエバのような体を持つからです。死は、神が人を創造された当初の計画にはありませんでした。死は描かれておらず、命だけでした。死は、罪が世に入ったときに入りました。ですから、すべて、、、とにかく、動物の犠牲は、ささげ物として動物においての死です。そうでなければなりませんでした。

— エゼキエル 43 : 19 —

わたしに仕えるためにわたしに近づく、ツァドクの子孫のレビ人の祭司たちに、あなたは罪のきよめのささげ物として若い雄牛一頭を与えよ —神である主のことば—

— エゼキエル 43 : 20 —

あなたはその血を取り、祭壇の四本の角と、台座の四隅と、周りの縁に付けて・・・

これは大変具体的で、文字通りの意味です。ですから、これが靈的だと考えていた人は信じることができません。これほど具体的であれば、その周りの縁にある伝説の四隅に靈的な何かがあるのはあり得ないからです。

・・・祭壇から罪を除き、そのための宥めを行う。

— エゼキエル 43 : 21 —

また、罪のきよめのささげ物の雄牛を取り、これを聖所の外の、神殿の特定の場所で焼かなければならない。

— エゼキエル 43 : 22 —

二日目に、・・・

皆さん、ご機嫌いかが？ もっと早く聞くべきだった？

— エゼキエル 43 : 22 —

二日目に、傷のない雄やぎを罪のきよめのささげ物として献げ、雄牛で罪を除いたように祭壇から罪を除く。

— エゼキエル 43 : 23 —

罪を除き終えたら、傷のない若い雄牛と、群れのうちの傷のない雄羊を献げる。

— エゼキエル 43 : 24 —

それらを主の前に献げ、祭司たちがそれらの上に塩をまき、全焼のささげ物として主に献げる。

留意ください。エゼキエルは細部に至るまで書き留め、彼に渡しています。あなたにはこれが必要になるでしょう。あなたはこれで試されるでしょう。もしかしたら、もう少し先でたぶん3000年もしないうちに。でも、あなたはそうすることになるでしょう。これが必要になります。なぜ塩にこだわるのか？ 塩は何を表しているのか？ 塩は防腐剤です。清めの成分です。25節、

— エゼキエル 43 : 25 —

七日間（完成数）、あなたは毎日、罪のきよめのささげ物として雄やぎ一匹を献げ、傷のない若い雄牛一頭と、群れのうちの傷のない雄羊一匹を献げる。

— エゼキエル 43 : 26 —

七日間にわたって祭壇のための宥めを行い、それをきよめ、聖別する。

そこで止めます。結婚生活、家族、家庭において、主がしかるべき位置におられるなら、純潔と聖別、献身があるでしょう。これは、「私は完全に聖別され、あなたに献身しています」と言うための聖別のお祝いでした。もし夫と妻が、その結婚の中心でしかるべき位置におられる主の御前で、心を配り、造り上げられ、清められ、全力で尽くしているのであれば、それこそが結婚を一つにまとめるものなのです。それが結婚を結婚たるものにし、それが家を家庭にし、それが家族を家族にしていけるのです。以前にも話しましたが、数学に関する話なので繰り返す価値があります。これについては計算がいりますが、すでに準備していたので正解でした。私には5人家族がいます。その5人家族の中にどれだけの人間関係があると思います？ 25少しお時間を差し上げます。家族の力関係のあり方にも、うなずけます。5人家族で25もの人間関係があるのだから。はい。夫と妻の関係、妻と夫の関係。まず2つです。まだ子供たちのところまで入れてません。母親と子供の関係、子供と母親の関係。そのままかけ続けて、5 x 5で25になる。この家族には25の人間関係があるのです。その家族の中で最も重要な関係が何であるか、皆さんはご存じですね。それは、家族の中心となるイエス・キリストとの救いの関係です。それが唯一の道です。特に私たちが生きているこんにちは。だからこそ悪魔は盗み、殺し、滅ぼそうと努めているのです。それが悪魔の唯一の狙いです。そして、家族こそが標的なのです。なぜか？ それは、私たちの天の御父である神との関係の縮図だからです。私たちはキリストにある兄弟姉妹なのです。なぜサタンがクリスチャンの結婚を嫌うのか、ご存じですね。それは、クリスチャンの結婚が象徴するもののゆえにです。それは花婿であられるイエス・キリストと私達の関係です。私たちは結婚するのです。結婚の祝宴、子羊の結婚の祝宴。私達はその花嫁です。イエスは花婿であり、夫と妻の関係なのです。私たちはキリストにある兄弟姉妹です。これで納得できるでしょ？ 私たちは兄弟姉妹。どうりで兄弟姉妹対決になるわけです。ええ、私たちは兄弟姉妹です。そこがまさに問題の一因です。私たちは家族です。私たちは神の家族。私たちは神の子どもたちなのです。それは、永遠に続く天国の縮図です。サタンが攻撃するのも無理はありません。とりわけ家庭の長である男性を。羊飼いを叩くことができれば、羊たちを散らせる。だから悪魔は家庭を破壊します。彼は家庭から男を引き離します。そして、もし男がまだ家庭にいるとしたら、悪魔はその家庭の長である男から男らしさを奪ってしまう。彼はもはや家庭の長ではない。そして、その男から男らしさを奪い取ることができれば、ここは、うなり声ださなくちゃね。彼はもはや男ではないが、男だわ(♡)。— (会衆：笑) —

今のはあまりにも上手すぎましたね。もちろん、私の結婚のことを言っているのではありませんよ。私は一家の大黒柱です。家族の中でズボン履くのは私です。(最も権限を持つのは私、の意味)ただ妻がどの一本を履くか私に指示するだけです。— (会衆：笑) — どこまで話したっけ？ 私たちはここで素晴らしい、聖書の細部の学びをしていましたね。27節のところだったかな？ そうでした。

助けてくれて本当にありがとう。

— エゼキエル 43 : 27 —

この期間が終わり、八日目とその後は、・・・

新しい始まりの日。新しい始まりの数です。

... 祭司たちが祭壇の上で、あなたがたの全焼のささげ物と交わりのいけにえを献げる。そうすれば、...

(これ、聞いてください)

... わたしはあなたがたを受け入れる。 — 神である主のことば —

ちょっと待って。それって逆じゃないですか？ 私たちがどう表現するか、ご存じでしょう？ 私はキリストを主であり救い主として受け入れました。主を褒め称えます。天国では、一人の罪びとが悔い改めたときに喜びが起こると知らされています。誰かがイエス・キリストの救いを受け入れたとき、そのときだけ、天国で何が起きているかを告げられました。あるいは、主の御前にいる人々が、この地上で起きていることを知るのです。あなたの興奮の邪魔をするように申し訳ないけど、主の御元へ行った愛する人たちは、別にあなたのことを見おろしているわけじゃありません。彼らはそれを求めています。

「冗談でしょ？ 私は主の御前にいるのですよ。下であなたが何をしているのかなんて見たくありません。」

こんな感じで「やめて～！ あなたどういうつもり？ からかっているの？」そして、そうそれは天国じゃありません。それは、地上で何が起きているかを見ることができる、もう一つ別の場所だと私は思っています。ヨハネは言いました。肉に従って... 天国ではお互いに誰だかわかるし、名札なんかいらぬから本当に嬉しいです。そんなことあったら、おかしいですよね？「こんにちは、私の名前はノアです。」「あなたがノア！まさか！」「ノ～ア～」私たちはただ、誰がノアなのかを知るだけです。(JD：ダジャレ、会衆：笑い) 今のは追加料金なしです。私はここで奥深いところに行こうとしていたのに、それはいつものように私から逃れてしまいます。ちょっと、ちょっとしたら戻ってきますから。たぶん、今夜11時くらい。おお、それが何だったか思い出した。分かりました。主よ、ありがとうございます。あなたはとても慈悲深いお方です。私たちは言いますね。「イエス・キリストを私の主、救い主として受け入れました。」と。主を褒め称えます。しかし、もっと大きな奇跡を知っていますか？ 主はあなたを受け入れてくださいました。いや、よく考えてみてください。あなたはキリストのもとに来ました。「あなたを私の主、救い主として受け入れます。」そして御使いたちが、「どうかな・・・。。そう急がずに。こいつはちょっと怪しいな。あまり安易に受け入れない方がいいと思う。」「あなたを受け入れますから。」「いいえ、私があなたを受け入れたと思いました。」「ええ、そうです。」しかし、大きな奇跡とは、ここにあるリスクを考えてみてください。私があるあなたを受け入れるのですか？「わたしはあなたを受け入れる」と主なる神は仰せられます。わあ、すごい。あなたはそれを受け入れます。私はキリストを受け入れたことを知っていますが、ここが素晴らしいところです。主は私を受け入れてくださいました。私だったら自分自身を受け入れなかったでしょう。私なら、「お前はダメ、ダメだな。彼らならたぶん、でもお前はちょっとね... と、言うでしょう。とにかく、44章です。また、調子はどうか聞いてもいいですか？

— エゼキエル 44：1 —

彼が私を聖所の東向きの外の門に連れ戻すと、門は閉じていた。

私達はこれをあと2回見ることになります。合計3回。で、2節、

— エゼキエル 44：2 —

主は私に言われた。「この門は閉じたままにしておけ。開けてはならない。だれもここから入ってはならない。... (その理由は、)... イスラエルの神、主がここから入ったからだ。」

これは閉じたままにしておかなければならない。このドアは閉ざされるという印象を受けますか？ なぜ閉ざされるのか分かりますか？ 主がここから入ってこられ、栄光のうちに神殿に戻ってこられたから、私たちはドアを今閉めて、誰もそのドアから戻れない、というようなことではありません。ええ、畏敬の念というものです。私たちはこのテーマの全体を通して見ていき、再度、私達の今夜の教訓です。家庭で、結婚生活で、家族で、主が本来の位置を占められるとき、そこには尊さがあります。このように考えてみてください。あなたが誰かを目の前にしたとき、話し方や振る舞いがいつもと違っていませんか？ もっと敬意を払っていませんか？ まさにその通りで、私は本当に、、、これはかなり胸に刺さることですが、大丈夫です。

というのも、私もあなたと同じように有罪で、あなたは、私がどういう意味でこう言うのかが、お分かりです。私たちは自分の家族に対して意地悪になり、他の誰かには決して言わないようなことを、家庭内では言ってしまうませんか？ つまり、人を招いたり、招かれたりするとき、あなたはとにかく意地悪、本当に意地悪です。夫から妻へ。妻から夫へ。繰り返しますが、私のことではないですよ。私には完璧な家庭があり、完璧な結婚生活があります。で、子供たちがケンカしているところに、お客さんが家にやって来ます。

「やあ、いい子だ。お客さんに冷たい水を用意しておいで。」うわー、30分前までは、「自分で取りにいけ！」って感じだったのに。そして今、誰かがこの家に来て、あなたはすっかり違った態度をとります。あなたは確信犯になると言ったはずですよ。私は本当に有罪なので、先に進みましょう。3節、

— エゼキエル 44:3 —

君主だけが、・・・

(この人を覚えていますか？) 私たちは以前に彼を紹介されましたが、この人は若干論議の対象です。私は公平を期すために、この君主がイエス・キリストであるという派の人々の意見を紹介しました。いいえ、あり得ません。来週、45章、46章を学ぶので、御心なら、来週、その章まで行けるなら見ますが、この君主は、罪のささげ物を捧げようとしています。もしそれがイエスなら、イエスには罪はないから必要ありません。そして、この人は、息子たちのために罪のささげ物を捧げます。イエスには息子がいなかったのだから、それがイエスであるはずがありません。教条的な考えではありませんが、この君主は、エルサレムを実際に支配し、統治することになるダビデ王に他ならないことは比較的確かです。ですから、エルサレムを統治したいと思っていた人、すでにダビデでその座は埋まっています。だから、千年王国時代、彼と話し合えないといけません。分かりませんが、オハイオ州トレドとか、イリノイ州ピオリアの統治を申し込んでみてはどうですか？ なぜそのような都市を挙げるのか？ 私が、もうハワイを手に入れたから。ハワイも埋まっていることをお知らせしておきます。ええ、心を強くしてください。私たちにはわからないからです。既に私たちに分かることとは、その詳細な記述でこの巨大なものと同じように、現在のエルサレムがこの神殿を容易に実現できるわけがないこと。ですから、患難時代と、千年王国の地上は、それ以前とは大きく異なるものになります。つまり、地形、地理、陸地、水、すべてが違います。つまり、島々は海に投げ出されます。支配統治するハワイはないかもしれません。仕事なくなるかもしれないから、オハイオ州トレドに応募するかもしれません。でも、すべてがまったく違うものになります。しかし私たちが知っているのは、これがエルサレムの姿だということで、地上全体がそうなります。人々はこの世で、1000年間、罪がこの世に入り込む前の状態で生きます。ちなみに、その期間、サタンはいませんよ。覚えてますか？ 彼は底なしの穴にいます。それは私にとって大変素敵なこと、ただの穴ではなく、底なしの穴で、彼は1000年間縛られます。私にとってさらに興味深いのは、それがどのように行われるかの描写です。名もない御使いが、見習いの御使いが送られ、これは重要な鍵ですよ。なお、私たちは両極端で、私たちは、悪魔を実際よりも強力な存在に仕立て上げるか、悪魔を赤いタイツをはいた漫画のキャラクターのように考えてしまう。その両極端は非常に危険だと思います。でも、サタンを神の対極ほど強力な存在に仕立てるとき、私たちは大きな間違いを犯すと思います。サタンはそうではなく、被造物です。私たちは彼を見たら驚くと言われています。私たちはこうなります。

「えー！！全ての世代の国々を感わしたのがこんなちび助なの？！！」ちょっと大げさかもしれないけど、衝撃的でしょう。私たちは衝撃を受けますよ。さらに衝撃的なのは、神が名もない御使いたちを送り、

「降りて行きなさい。鎖をもっていき、彼を倉庫にいれ、フックに繋げておきなさい。行って、縛り上げなさい。」サタンをですよ！！ 天の全軍勢が必要だと思うでしょ？ 「いやいや、彼だけで良い。その御使いだ。君の名前は？ 君が行ってきなさい。」「僕ですか？」「そう。」「援護のために誰かを連れて行くべきですか？」「いやいや、君だけで十分だ。」「鎖を持って行って、縛り上げ、底なし穴に放り込みなさい。サタンはそこに千年間ずっと留まる。」(黙示録 20章参照)

これは作り話ではありませんよ。なぜそんな風に私を見ているのですか？ 自分の聖書を読んでください。ベレア人になって、聖句を調べてください。あなたはハリウッドに、、、ええ、ハリウッドはハリウッドです。私はそれに支払って、ダウンロードして、有料になっても、オンデマンドで配信します。

映画：「サタンは実習生に鎖につながれ、底なしの穴に投げ込まれる。」シリーズ化すべき素晴らしい映画になるでしょう。ネットフリックスで。脱線しましたね。誰か助けてください。4節をしましたっけ？ いや、まだですね。ですからこの君主。まだ3節ですね。先に進んだ方がいいですよ。そんな話は止めなさいって。ですからこの君主はダビデ王でしょう。このことは、先に進むにつれて理解できるようになります。

・・・君主として主の前でパンを食べるために、そこに座ることができる。・・・

この記述で腑に落ちますよね。もしこれが主だったら、主の前でパンを食べることはありません。ご自分が主であられるので。ですからこの君主は、主ではありません。私たち大丈夫ですか？ 良かった。先に進みましょう。

・・・彼は門の玄関の間を歩いて入り、そこを歩いて出て行く。」

ー エゼキエル 44：4 ー

彼は私を、北の門を歩いて神殿の前に連れて行った。私が見ると、なんと、・・・(ここで再度、、、私は十分表現できません。)・・・なんと、主の栄光が主の宮に満ちていた。

私はひれ伏した。エゼキエルのパターンが分かります。これが習慣になりつつあり、彼はまたひれ伏しています。これは初めてのことでありません。2度目でもありません。彼は以前に何度もそうしました。当然です。「主の栄光が主の宮に満ちて神殿全体を満たしている」おお、主の栄光が私たちの家を満ちし、主のご臨在に満ちた家となりますように。

ー エゼキエル 44：5 ー

すると、主は私に言われた。「人の子よ。主の宮のすべての掟とそのすべてのおしえについて、わたしがあなたに告げていることをすべて心に留め、それに目を注ぎ、耳を傾けよ。神殿の入り口と、聖所のすべての出口を心に留めよ。

言い換えると、ええ、ここは戻ったほうがいいですね。これは聞く耳を持ち、見る目を持つことです。耳があるからといって、これが聞こえるとは限りません。目があるから、見えるとは限りません。誰かに話しかけられても、何を話しているのか全然聞いていない。誰かが目の前にいても、あなたはその人を見ていないのと同じで、あなたはその人を見過ごす。あなたは相手に全神経を注がない。それが、主がエゼキエルに仰っていることで、「心に留めなさい。」「わたしがあなたに告げていることをすべて心に留め、それに目を注ぎ、耳を傾けよ。これはとても重要なことで、わたしは、誰が入り、誰が入れないかを決める方法をお話しします。」「待ってください。入れない人たちがいるのですか？」「そうです。」「どういう人が、ですか？」6節、

ー エゼキエル 44：6 ー

あなたは、反逆のイスラエルの家にこう言え。『神である主はこう言われる。イスラエルの家よ。あなたがたのあらゆる忌み嫌うべきわざは、もう十分だ。

ー エゼキエル 44：7 ー

あなたがたは、心に割礼を受けず、肉体にも割礼を受けていない異国の民を連れて来て、わたしの聖所にいさせ、わたしの神殿を汚した。あなたがたは、わたしのパンと脂肪と血を献げたが、あなたがたの行った忌み嫌うべきあらゆるわざによって、わたしとの契約を破った。

ー エゼキエル 44：8 ー

あなたがたは、わたしの聖所での任務も果たさず、かえって、自分たちの代わりにほかの者たちを、わたしの聖所で務めを果たす者として置いた。』

だからあなたがたは入れない。皆さん、分かりましたか？ 彼らがしていたことが分かりますか？ これは主の御目に、忌み嫌うことです。彼らは、今の私たちの状況で言うと、教会で奉仕するためにノンクリスチャンを雇っていた。本土での実話です。私は非常に注意して言います。小さな島ですから、ここでの例えは

使いません。ですから本土での話です。遠〜い遠〜いその昔、遠〜い遠〜い土地での実話です。彼らは賛美リーダーを切望していました。彼らはキリスト教の教会で賛美をリードするため、新生もしていないモルモン教徒を連れてきました。(ほ〜〜)それが彼らのしたことです。そしてこれが神のご返答。「からかっているのですか？」非常に緩い言い換えですけど、「あなたが連れてきたのは、モルモン教徒やエホバの証人、イスラム教徒をわたしの教会で奉仕させるため連れてきた。」そう、ダメダメ。「あなたはそれを汚した。あなたは、自分のために、自分の代わりに彼らにさせた。自分がしたくないからですか？ それはあなたの足元にも及ばないもの？ あなたは怠け者でもあったから？ それであなたは彼らを雇い、「問題ない、生きているなら奉仕できる。」と言ったのです。そして彼を責任者にした。彼らは彼を聖なるものの指導的立場に置いた。汚れた者が聖なる者を監督する。割礼を受けていない者が。」皆さん分かりますか？ これは肉を断ち切ることの型で描写です。今から肉についてもっと詳しく話すときに、それが分かります。私は肉の話をするのは好きではありませんが、私たちは肉について話さねばなりません。もう締めくくります。で、9節、

— エゼキエル 44：9 —

神である主はこう言われる。「心に割礼を受けず、肉体にも割礼を受けていない異国の民は、だれもわたしの聖所に入ってはならない。イスラエルの子らの中にいる異国の民はみなそうだ。

— エゼキエル 44：10 —

イスラエルが迷って自分たちの偶像を慕い、わたしから迷い出たとき、レビ人もわたしから離れ去ったので、彼らは自分たちの咎を負わなければならない。

— エゼキエル 44：11 — (神の恵みですよ)

彼らは神殿の門で番をし、神殿で奉仕をして、わたしの聖所で仕え、また、民のために全焼のささげ物といけにえを屠り、こうして民の前に立って、彼らのために仕えるはずなのだ。

彼らは、割礼を受けていないノンクリスチャンを雇い、こういうことをしていました。わたしは彼らに、千年王国でそれをしてもらいます。その理由は、それはむしろ、恵みある訓戒なのです。

— エゼキエル 44：12 —

レビ人たちは民の偶像の前で民に仕え、そのことでイスラエルの家を不義に引き込むものとなった。それゆえ、わたしは彼らに手を上げて厳かに誓う — 神である主のことば —。彼らは自分たちの咎を負わなければならない。

レビ人は、祭司の部族だったのを理解してください。

— エゼキエル 44：13 —

彼らは、祭司としてわたしに仕えるために、わたしに近づいてはならない。わたしのあらゆる聖なるもの、また最も聖なるものに近づいてはならない。彼らは、恥辱と、自分たちの行った忌み嫌うべきわざの責めを、負わなければならない。

14節、”にもかかわらず、”私はこの言葉が好きです。私に関係すること”にもかかわらず、”なぜなら神が仰っているのは、”にもかかわらず、”彼らが何をしたとしても、わたしは尚も彼らに奉仕させます。ただ、一時期のような規模の働きにはならない。あなたが小さなことに忠実でないなら、わたしはあなたに多くを託さない。あなたは、わたしへの奉仕のためにわたしが与えたことに不忠実だった。

— エゼキエル 44：14 —

(にもかかわらず) わたしは彼らに、神殿のあらゆる奉仕と、そこで行われる神殿のすべての任務を果たさせる。

— エゼキエル 44：15 —

しかし、イスラエルの子らが迷ってわたしから離れたときも、わたしの聖所の任務を果たした、ツアドクの子孫のレビ人の祭司たちは、(アロンの子孫です。)・・・(ツアドクの子孫のレビ人の祭司たちは、)・・・わたしに近づいてわたしに仕え、わたしの前に立ち、わたしに脂肪と血を献げることができる
— 神である主のことば —

— エゼキエル 44：16 —

彼らはわたしの聖所に入ることができる。わたしの机に近づいてわたしに仕え、わたしへの務めを果たすことができる。(あなたがたではない、レビ人よ。) わたしは、ツアドクの子孫にそれをさせる。

なぜか？ 彼らは小さなことに忠実だったから。1000年間、わたしは彼らに多くを託します。

— エゼキエル 44：17 —

彼らは、内庭の門に入るときには、亜麻布の服を着なければならない。内庭の門、および神殿の中で務めをするときは、毛織物を身に着けてはならない。(ウールは痒くなりますよね。)

— エゼキエル 44：18 —

頭には亜麻布のターバンをかぶり、腰には亜麻布のももひきをはく。(↓これが事の背後の理由です。) 汗の出るようなものを身に着けてはならない。

汗とは？ 発汗。意味深でしょ。なぜ発汗するのか？ それが肉の働きの証拠です。

「わたしの前では、どんな肉も栄光を受けることはできない。(Iコリント 1：29参照) わたしの栄光があるところには、どんな肉もわたしの前に出られない。そこに肉はいらない。わたしはそれを見たくない。」

幕屋でも、祭司たちは足まで覆われた衣を着ることになっていました。祭壇の階段を上っていけにえを捧げるとき、彼らの肉が見えることがないように。ポイントは？ ポイントは、私のような者が毎週の特権から、この説教壇の後ろに立つとき、あなたは、私の肉を見るべきでない。はっは～私たちには問題があります。私の肉をたくさん見ているはずだから。でも覆う必要があります。肉は、神の霊とご栄光とご臨在に競い合うからです。それと、別途、私たちの務め、主への奉仕、私たちは皆、聖職者でしょう？ 聖なる聖職。私たちは、主への奉仕において、自分の肉の力で何かをしてはなりません。その証拠は、この男は汗をかいている。つまり、彼はとてもハードに働いているということ。つまり、彼は自分の肉のエネルギーで働きをしているのです。御霊ではありません。チャック・スミス牧師が、素晴らしい描写をしていました。さっと言います。彼はクリスチャン生活を工場なのか、ブドウ園：すべての果実があって落ちて静かで美しい果樹園に例えました。工場の方は、プレッシャー！！ 汗をかき、締切がある。もうストレスっていいましたっけ？ では、より大きなストレス！ 私たちの生活は、工場：働け！働け！働け！ それとも、園：果樹園、ブドウ園なのか。ぶどう園には、肉の働きはありません。御霊だけです。御霊の実だけ。汗はありません。私たちが言うところの、汗はかかない。なぜ汗をかかないのか？ 汗をかく肉がないからです。汗をかくなら、肉があります。汗をかかないなら、肉はありません。この状況から抜け出せるようにしています。言わせてくれますか？ そうすれば、先に進んで、最後まで学び終わられるので。

— エゼキエル 44：19 —

彼らが外庭に出て、外庭の民のところに出て行くときは、務めのときに着ていた服を脱ぎ、それを聖所の部屋に置き、ほかの服を着なければならない。その服によって民を聖なる者とするためのためである。

どういうこと？ ええ、留意ください。この衣服、ローブを着ているとき、祭司だから、制服を着ているようなもので、う～あなたはそうなのね。驕りと呼びます。またしても肉として。ですから、祭司のローブを着て歩いてほしくないのです。「私が聖職者だとお気づきですか？」的に。肉として。ですから、祭司の奉仕に使う聖なる衣を脱いでほしいのです。なぜなら、あなたはそれが頭から離れず、自分が重要な存在であることに人々に気づいてほしくなるから。なぜなら結局あなたがたは、ツアドクの子孫だから。「お～あなたは祭司なんだ。」それが理由です。ええ、私もかもしれません。だから私は、誰も私のことを尊師、呼んでほし

くないのです。最も聖なる尊師はローブと襟をつけて、歩かねばならないから。人々は私を違うように扱うでしょう。なぜなら「見て。彼は祭司よ。」「わお、、、私のフランス語をお許してください。」服装のせいで、彼らはあなたの周りでまったく違った行動をとります。わたしはあなたにそんなことをしてほしくない。わたしはあなたに、自分を実際以上に重要視したり、自分を高く評価したりしないでほしい。だから謙虚になって、聖なる祭司服を脇に置き、短パンとスリッパ（サンダル）を履き、、、どうか、シャツを着てください。お願いします。”シャツなし、接客なし。”着てから外出してください。で、20節、酷くなります。これは私にとって非常に個人的です。

— エゼキエル 44：20 —

彼らは頭を剃ってはならない。（私は最善を尽くしています。）髪を長く伸ばしすぎてもいけない。（そう望んでも無理です。）頭の毛はきちんと切りそろえなければならない。

どういうこと？ 聞いてください。分かりますので。時々、人は自分の髪に少し夢中になって、ロングヘアの男性。主張があり、注目を集め、目立ちます。そう、襟やローブと同じです。すると、人々のあなたを見る目が変わります。驕りですよ。そして同様に、身だしなみが整ってなくて、めちゃくちゃなら、それもまた同じことになります。注目を浴びることになります。人々はあなたを見て言います。「わお！」また人々はこうも言います。「ねえ見て、あの髪型。」また人々はこうも言います。「なあ、あれ見てよ。なんちゅう髪型。」いずれにせよ、同じことになります。生じるのは、いえ、これって、、、それは主から注意を逸させ、自分に注意を向けさせます。それが肉です。祭司は奉仕しているのに、突然、注意が主に向けられるのではなく、肉に、祭司に、人に向きます。「あの髪型見て。あの着こなしを見て。」「彼を見て。」違います。主を見てください。あなたは主を見るために主に注意を向けるためにそこにいる。邪魔をさせないでください。肉は、邪魔をし、御霊と競合する障害物です。ですから、髪を切って整えてください。

— エゼキエル 44：21 —

祭司はだれでも、内庭に入るとき、ぶどう酒を飲んではいけません。

聖霊以外の影響下にあってはなりません。

— エゼキエル 44：22 —

やもめや離縁された女を妻にしてはならない。イスラエルの民のうちの処女を妻としなければならない。しかし、やもめでも、それが祭司のやもめであれば、妻としてもよい。つまり、あなたの家は、きちんとしなさい。

— エゼキエル 44：23 —

彼らはわたしの民に、聖なるものと俗なるものとの違いを教え、汚れたものときよいものとの区別を告げ知らせなければならない。

この23節は、すべての牧師や聖書教師の聖書に下線が引かれているはずです。それが私たちの仕事です。私たちは人々に、何を考えるかを教えているのではなく、どのように考えるかを教えるのです。どう見極めるかを。私たちは人々に、聖なるものと聖なるものでないものを見分け方の違いを教えます。

— エゼキエル 44：24 —

争いがあるときには、わたしの定めにしたがってさばきの座に着き、これをさばかなければならない。・・・

彼らは、論争がある時に正当に裁くことができ、神の御言葉に基づいて仲裁できるような、神の御言葉に関する実践的な知識を持っていなければなりません。

・・・わたしのすべての例祭には、わたしのおしえと掟を守り、わたしの安息日を聖なるものとしなければならない。

— エゼキエル 44:25 —

彼らは、死んだ人間に近づいて身を汚してはならない。・・・

(繰り返しますが、それが汚すのです。)そしてそこが、千年王国で死がある場所です。

・・・ただし、自分の父、母、息子、娘、兄弟、未婚の姉妹によって汚れることは許される。

言い換えれば、肉親のみ許されます。

— エゼキエル 44:26 —

その場合、祭司はきよめられた後、さらに七日（完成数）を数えなければならない。

— エゼキエル 44:27 —

聖所で仕えるために聖所の内庭に入る日には、罪のきよめのささげ物を献げなければならない — 神である主のことば。

— エゼキエル 44:28 —

祭司たちへのゆずりとなるのはこれである。わたしが彼らへのゆずりである。あなたがたはイスラエルの中で彼らに所有地を与えてはならない。わたしが彼らの所有である。

覚えてますか？ イスラエル人には部族に応じた土地が与えられましたが、レビ人には与えられませんでした。なぜか？ 彼らは祭司族だったからです。彼らは土地を得ませんでした。彼らは主がいるからです。聞いてください。土地か主か、どちらかを選ぶとしたら、主が私の割り当て、受け継ぐもの。私は主を選びます。あなたは、オハイオ州トレドに、その区画の土地を所有すればいい。あなたがトレド出身なら、私たちはあなたを愛しています。神があなたを祝福されますように。29節、もう学び終わります。神に感謝です。

— エゼキエル 44:29 —

彼らの食物は、穀物のささげ物、罪のきよめのささげ物、代償のささげ物である。イスラエルのうちで、聖絶されたものはみな、彼らのものである。

— エゼキエル 44:30 —

あらゆる種類の初物、あなたがたのあらゆる奉納物のうちの最上の奉納物は、すべて祭司たちのものであり、・・・(これ覚えておいてください。)・・・あなたがたの麦粉の初物も祭司に与えなければならない。・・・

残り物ではありませんよ。違います。「新しいソファを買ったから、古いのは教会に寄付したいんだ。」

マジ？ そんなの不要です。ある話を思い出します。サッと言います。もう締めですから、時計を見ないでください。これは価値がある話なので。ある男が家に帰ってきました。彼は牧場主です。面白い良い知らせを話します。「子牛が2頭生まれたんだ。一匹は主に捧げるつもりだ。」そして妻が、妻だけができる通り、具体的なことを聞いてきます。「あなたはどちらを主に捧げるの？」「いやいや、大丈夫。どちらか一匹を主に捧げるから。」で、時間が経って、ある日、夫が帰宅して妻に言います。「ハニー、主への子牛が死んだんだ。」主は、、皆さんちょっと待ってくださいよ。なぜ知ってるの？ イスラエルの民が、、この話でその気にさせてしまったので、対処しようと思います。もう締めくくりますので。本当に。でも、そう、イスラエルの民は傷のある生贄を捧げていました。彼らのお粗末な捧げ物は、主にとって最良のものではありません。で、祭司がいて、彼らには作物を栽培し、生活するための土地がありません。食事はどうやってとるのか？ 彼らはどうやって生活するのか？ 捧げ物からです。思うに、この痛んでボロボロになったソファが主への捧げ物。主を褒め称えます。いいえ、それを捧げてはいけません。自分の土地の初物を捧げるのです。それが最高の物です。

・・・あなたの家に祝福が宿るためである。イエスが家庭にしてくださった我が家に、祝福が宿ることを望

みませんか？ 神がこの家庭を祝福し、神の祝福があなたの家に宿る。何を前提にしているのか？ それは最初の果実、最高のもの、作物の清さが前提です。初物を主に捧げてください。それが生じるのは、、、これはマラキ書、神の御言葉の中で唯一、神がこう言われた時です。

「こうしてわたしを試してみよ。」(3:10)

何で？ 什一献金です。「わたしを試してみなさい。試してみ。試してみ。」地元のピジン語発音ですね。わたしを試してみよ。わたしがあなたがたのために天の窓を開き、あふれるばかりの祝福をあなたがたに注ぐかどうか。(マラキ 3:10)

あなたには余地がなくなるほど、わたしの祝福があなたの方の上に注がれる。なぜか？ あなたが、什分の一献金でわたしを敬ったから。わたしはあなたを祝福する。溢れるばかりに注ぐから、あなたはこうなります。「主よ、もう止めてください。もう受け取れません。」「わたしは止めません。」「お止めください。」なぜなら、神はあなたよりもずっと大きなシャベルをお持ちだから。主はあなたを祝福して下さいます。それは、あなたが収入の最初の実りで主に敬意を払うことが前提です。初めて献金を捧げたときのことを覚えています。死ぬほど怖かったのです。なぜなら、私はすでに、いくつかの支払いを遅らせねばならないだろうと思ったから。私は考えます。

「1割？ 100%が必要なのにあてがえない。100%必要なのに、どうやって9割でしのぐのか。」私は最初の小切手を書きました。震えていました。オンライン支払い以前の話し、小切手を使った時代の話です。献金に最初の小切手を出したことを覚えています。ペンから血が滲み出そうになって、サインをしました。

「OK。主よ、私はあなたを試します。」神が証人ですが、私は非常に若い信者でした。私は早い時期から始め、請求書があったのを覚えています。主を信頼するつもりだから、待たねばならないと思いました。最初の小切手です。最良、最高のものです。神が証人です。私はそれらの請求書をすべて支払うだけの十分なお金だけでなく、残金が出ました。間違いなく計算を間違えた、計算を間違えた、と思いました。計算ではありませんでした。奇跡でした。私は神を試して、瞬時に、什分の一を払うのが死ぬほど怖かったのが、什分の一を払わないのが死ぬほど怖くなりました。なので今、うちにはいない案内係がきて、什分の一を受け取ります。— (会衆：笑) —

ちなみに、オンラインの方、私たちには献金の案内はありません。箱が置いてあるだけです。私たちは決して、、、しません。もう終わりだから、この件は、閉じた方がいいね。30節、30節でしたっけ？ そうですね。最高の物を主に捧げる。あなたの家に祝福が宿るためである。で、31節、最後の節です。手前味噌に聞こえるでしょうけど。

— エゼキエル 44:31 —

祭司たちは、死んだ動物や、野獣にかみ裂かれたものはすべて、鳥であれ獣であれ、食べてはならない。」

言い換えれば、牧師たちは、道端の死骸を集めて食べる羽目にはならない。これは生々しい描写ですが、そういうことです。牧師たちは、食べるために動物の死骸を探すようなことはすべきでない。そうではなく、あなたがたが持ってきて、祭司は与る。「脱穀をしている牛に口籠をはめてはならない」(申命記 25:4) 「これがわたしが定めた方法です。」それはすべて大変手前味噌です。皆さん今から、献金のご案内です。”愛の献金”(牧師への感謝献金)を。いやいや。OK。

カポノ、上がってきてください。皆さん、ご起立ください。皆さんの優しさに感謝します。だって、2つの章を学んだんですよ。でしょ？ かなり厳しかったですけどね。お父様、どうもありがとうございます。この箇所には多くのことがあって、はい、ちょっと大変で、単調でさえありますが、非常に良いものがあります。今夜、御言葉の中で読み、学んだこれらのことは、もう間もなく現実になります。今夜のこのことは、もしかしたら7年ちょっと先のこともかもしれません。主よ、私たちは待ちきれません。携挙後の患難時代後の千年王国で、私たちは栄光の体で、あなたと共に支配統治するのです。イスラエルとエルサレム、神殿とユダヤ人がどうなるかを垣間見せて下さっています。主よ、そのことに感謝します。主よ、私たちが今夜、家路に着くとき、今夜、私たちが家路につくのが、あなたが中におられる家庭であることを祈ります。私たちの結婚、私たちの家族、私たちの人間関係、私たちの家庭に、あなたが栄光を帰されるため、あなたのご

臨在とご栄光がその中にありますように。主よ、ありがとうございます。私たちはあなたをととても愛しています。イエスの御名によって。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7